

# 1 沿革

年号	西暦	トピックス
養老 5	721	刈田郡が設置される
大同 1	806	刈田嶺神社の名が国の法令資料に現れる
文治 5 (1300年代中ごろ)	1189	『文治の役』。奥州藤原氏、町域内『根無藤』『四方坂』で鎌倉方と戦う 伊達氏、刈田郡を支配
天正 19	1591	伊達政宗、豊臣秀吉の命に従い仙北に移動。刈田郡は蒲生氏郷領となる
文禄 3	1594	蒲生氏郷病死。刈田郡は上杉景勝領となる
慶長 5	1600	関ヶ原の合戦。伊達政宗、刈田郡に侵攻
慶長 6	1601	刈田郡、伊達政宗領となる
慶長 7	1602	笹谷街道（羽前街道）に永野宿・猿鼻宿（現在の花町）が開設される
天明 4	1784	天明の大飢饉。町域内各村でも多数の餓死者が出て人口が半減する
明治 1	1868	明治維新。町域内の武士の多くは帰農
明治 11	1878	郡区町村編制法。町域内は宮、曲竹、矢附、円田、塩沢、平沢、小村崎の 7ヶ村となる
明治 22	1889	曲竹、矢附、円田、塩沢、平沢、小村崎 6村が合併し、円田村が誕生。町域内は宮・円田の 2ヶ村となる
昭和 30	1955	宮村・円田村が合併して蔵王町が誕生。町名は地域のシンボルである霊峰・蔵王からいただいた
昭和 34	1959	町章制定。蔵王町の『ざ』の字を図案化し、地域のシンボルである蔵王連峰と特産物の桃を表現
昭和 37	1962	広報ざおう発行開始。蔵王エコーライン開通
昭和 38	1963	『蔵王連峰』が国定公園に選定
昭和 44	1969	町民歌制定
昭和 52	1977	蔵王町役場庁舎完成。円田庁舎より現在の庁舎に移転。町木『五葉松』、町花『桃』制定
昭和 55	1980	町民憲章制定
平成 23	2011	東日本大震災発生。町内の施設・家屋等が被害を受ける

資料：生涯学習課

## 2 位置

方位	経度	緯度	地名	距離	標高
東端	140° 39' 32"	38° 05' 53"	大字小村崎字山崎地内	東西 23 km	20m～ 1,825m
西端	未定	未定	遠刈田温泉字倉石岳国有地内		
南端	140° 38' 57"	38° 02' 03"	宮字松ヶ丘地内	南北 13 km	
北端	140° 34' 25"	38° 09' 00"	大字円田字土浮山地内		

資料：国土交通省国土地理院

## 3 地勢

蔵王町は宮城県南部に位置し、白石川支流松川水系一帯を占める。東は村田町、西は蔵王連峰を境に山形県、南は白石市、北は川崎町に接する。

海拔の最高は西端の屏風岳で 1,825m、最低は東南部の松川と白石川の合流点で 20m、起伏に富み、町面積は 152.83 k m<sup>2</sup> で約 60% が山林・原野であるが、その割に耕地面積は広く、果樹生産では県内有数の産地でもある。

一方、西部は蔵王国定公園に含まれ、松川上流の遠刈田温泉などが蔵王観光の基地となっている。

## 4 役場の位置

名称	所在地	電話番号	経度	緯度	標高
蔵王町役場	〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字 円田字西浦北 10 番地	0224 33-2211(代)	東経 140° 39' 32"	北緯 38° 05' 53"	116m

資料：国土交通省国土地理院

## 5 山岳

山岳名	標高
屏風岳	1,825m
刈田岳	1,758m
杉ヶ峰	1,745m
五色岳	1,672m
後烏帽子岳	1,681m
前烏帽子岳	1,402m
青麻山	799m

資料：国土交通省国土地理院，宮城県統計年鑑

## 6 主要河川

令和4年4月1日現在（単位:m）

河川名	上流端	下流端	流路延長
白石川	左岸 刈田郡七ヶ宿町字大谷地道下3番地先 右岸 刈田郡七ヶ宿町字大谷地道下5番地先	阿武隈川への合流点	69,689
松川	新滝川の合流点	白石川への合流点	20,745
森の川	左岸 刈田郡蔵王町宮字乙当地6番の3地先 右岸 刈田郡蔵王町宮字森合12番の7地先	平家川への合流点	2,300
平家川	白石市福岡深谷字家老内57番2地先の大黒天橋	松川への合流点	2,100
黄金川	左岸 蔵王町宮字中野165番地先 右岸 蔵王町宮字押田98番地先	松川への合流点	1,500
藪川	左岸 蔵王町大字平沢字西原26番2地先 右岸 蔵王町大字平沢字西原28番の1地先	松川への合流点	11,663
高木川	左岸 蔵王町大字円田字根無藤22番の1地先 右岸 蔵王町大字円田字土浮山8番地先	藪川への合流点	4,550
秋山沢川	刈田郡蔵王町遠刈田温泉字七日原199番1地先 の秋山沢1号砂防堰堤下流端	松川への合流点	6,534
濁川	三途川の合流点	松川への合流点	9,053

資料：宮城県大河原土木事務所行政班